

ハンズオンライブセミナー(3) 11月6日(土)9:30~11:30(ライブ配信のみ)

「DAM(Difficult Airway Management: 困難気道管理)ライブセミナー」

座長: 山口 重樹(獨協医科大学医学部麻酔科学講座)

インストラクター:

1. 「ビデオ喉頭鏡とイントロデューサー」 生田 義浩(熊本大学病院中央手術部)
2. 「小児」 齋藤 朋之(獨協医科大学埼玉医療センター麻酔科)
3. 「COVID-19症例」 野村 岳志(東京女子医科大学集中治療科)
4. 「輪状甲状膜穿刺」 楠 真二(県立広島病院救命救急センター)
5. 「ファイバー挿管」 瀬尾 憲司(新潟大学医歯学総合病院歯科麻酔科)
6. 「分離肺換気」 中山 禎人(札幌南三条病院麻酔科)

目的・内容: 安全な麻酔導入のための気道管理ガイドラインが日本麻酔学会より発表され、全身麻酔導入時の麻酔導入時換気状態の診断と分類、麻酔前気道評価と麻酔導入方法ならびに気道確保器具の選択、全身麻酔導入後の気道管理戦略等が明確に示されています。このガイドラインの中で最も重要な項目は「麻酔導入時の日本麻酔科学会気道管理アルゴリズム(JSA-AMA)」であり、換気の危機的状況に応じた対応策が示されている点です。今回のDAM(Difficult Airway Management: 困難気道管理)ライブセミナーでは、日本臨床麻酔学会DAM教育インストラクターが、本邦で使用可能な気道確保のためのさまざまな器具とシュミレーター(人形等)を用いて、DAMに遭遇した際のさまざまな対処法の実践をライブ配信し、ガイドラインの主旨やJSA-AMAの理解を深めてもらいたいと考えています。安全な麻酔導入のための気道管理について、麻酔科修練医にとっては知識と経験の整理の機会となるはずです。